

チャレンジ工房news

第 77 号 平成 29 年 8 月発行
発行先 パソコン工房チャレンジ
編集責任者 曲 圭子
裏面編集 浦部 吉久佐
イラスト Aya

相模原事件から1年・・・ ～ 今思うこと・・・ ～

去る7月26日、私たち障害をもつ当事者として福祉を任う者として、生涯に渡って忘れられない事件になってしまった「相模原事件」から一年が経ちました。

所員・スタッフ一同、この事件によって「一人ひとりの人間として尊厳がある貴い命」を奪われた19名の方々のご冥福をお祈りするとともに、犠牲になられた方々の家族や施設関係者の方々の日でも早く心身ともに回復されますことを願うばかりです。

一人の人間として、障害をもつ当事者として、決して許すことはできない「障害者の人権を無視した殺人事件」を引き起こした犯人は、事件から一年経った今でも反省する気配もなく、マスコミ等の取材に対して、「意思疎通もできない不幸で可愛そうな重度障害者を安楽死させてあげただけ」と訴えているようです。

「障害者=不幸で可愛そうな人、生きる価値がない人」という犯人の障害者の人権と他人の尊厳を無視し続けている犯人の言動には、深い憤りを感じ、怒りを隠しきれません。

私も工房の通勤と途中に、自転車で車いすの後ろを「面白がって、ベルを鳴らし続けて追っかけまわしてくる少年たち」に出くわしてしまい、苦い思いをすることが時々あります。

相模原事件などの障害者に対する差別的な問題や障害者・若者を取り巻く生活問題・就業率などの雇用問題を福祉関係者や障害者などの当事者だけの問題に捉えずに、社会全体の問題として、次世代を任う若い世代の人たちにも、「他人事の問題」ではなく、「自分たちの社会の問題」として、考えてもらうことができればと一連の出来事を通じて強く思いました。

工房の日々

毎日、朝から太陽の日差しが照りつけるほどの暑さの中で、朝から5名ほどの所員さんが通所され、それぞれの研修に取り組みられています。

中には、「もうすぐ工房も夏休みに入るから、今のうちに分からないことをまとめて聞いておこう」と言って朝早くから来られて、熱心に私たちに質問される所員さんもいます。

そんな所員さんたちの研修に対する熱意と数台のパソコンの熱気が溢れてて、工房にある業務用のエアコンも追いつかないぐらいです。

工房の夏休みが終われば、年末に向けての当工房オリジナルデザインのカレンダー制作や年賀状の制作・印刷、「尼うえるフェア」・「市民福祉のつどい」などのイベントでの販売準備が本格的に始まります。

今年も工賃仕事を志している所員さんと一体になって、昨年よりも少しでも多く売上を伸ばし、12月の年の瀬にはボーナス的な工賃を支払えるように頑張りたいです。

また、一般企業やMOS試験などの資格取得を目指している所員さんには、開所当時行っていたWordやExcelなどの「力試しテスト」や「工房内模擬試験」に取り組んでもらい、自身が「あまりできてない単元」や「苦手な単元」を理解してもらうことで、更なるステップアップをすることができる研修を手かがけて行くことができればと考えている今日この頃です。

8月の予定

8/11(祝)～8/20(日)

夏期休暇

※上記の10日間、所員・スタッフの心身とものリフレッシュを図るため、夏期休暇を頂きます。

※休み明けは、8/21(月)より開所します。



暑い日が続きますが、熱中症に気をつけてください

連日、33度を超える暑い日が続いております。通所、外出時には暑さ対策を十分にさせていただきますようお願い申し上げます。熱中症の危険も増しております。体調管理にはくれぐれもご注意ください。

熱中症の症状

- 1、めまいや立ちくらみ、顔がほてるなど 一時的に意識が遠のく、腹痛などの症状が出る場合もあります。
「こむら返り」と呼ばれる、手足の筋肉がつる、手足のしびれなどの症状が出る。筋肉がピクピクとけいれんし、硬くなる。
- 2、体がぐったりし、力が入らない。吐き気やおう吐、頭痛などを伴う場合もあります。
- 3、汗が止まらない、もしくはまったく汗をかいていないなど、汗のかきかたに異常がある。
- 4、体温が高い、皮膚の異常、体温が高くて皮膚を触るととても熱い、皮膚が赤く乾いているなど。
- 5、声をかけても反応がない、あいまいな返答をする。または、体がガクガクとひきつけを起こし、まっすぐ歩けないなど。

上記のような症状は熱中症の可能性があり、すぐ医療機関を受診してください。

呼びかけに反応しないなど、自分で上手に水分補給ができない場合は大変危険な状態です。この場合は、むりやり水分を口から飲ませることはやめましょう。すぐ医療機関を受診しましょう。

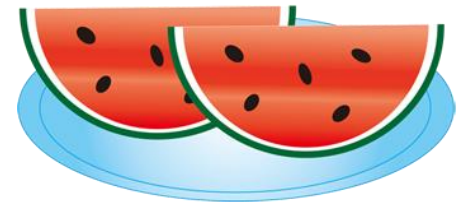
このような症状が出ないよう、日頃から熱中症の予防・対策を

熱中症のサインに気がついたら、症状を悪化させないためにも、上手な水分・塩分補給をしてください。水分だけでなく塩分も補給することで、症状の改善ができます。塩分の補給には、塩分を含む飴、ドリンクなどを摂取してください。

涼しい日陰や屋内で適切な水分・塩分補給を行い、安静にすることで多くは改善します。いつもと体調が違うと感じたり不安があったりするときには医療機関を受診してください。

また、こまめな水分・塩分の補給は熱中症予防にも有効です。また塩分に加え糖分の入ったスポーツドリンクなどでこまめに水分補給することで、熱中症を予防しましょう。

また外出時には帽子や日傘を利用し、室内でも、適時エアコンを使用するなど体温の管理を十分行ってください。



尼崎の歴史ゆかりの地 雉ガ坂伝説



武庫川の堤防沿いにある「雉ガ坂伝説の地」は、本能寺の変を知った秀吉一行が備中から急ぎ引き返す途中、このあたりまで来た時、あわただしく雉が飛び立つのが見えた近くのお百姓が異変を知らせ、明智光秀の兵が待ち伏せしていることを知り、道を変えて難を逃れたとの言い伝えが残るところです。中国街道が武庫川の堤防にのぼるなだらかな坂道を「雉ガ坂」と呼んで言い伝えています。